2026年11月9日

各位

会　社　名　株式会社ゼネテック
（コード番号：4492　東証スタンダード）
代 表 者 名　代表取締役社長　上野　憲二
問 合 せ 先　経営管理統括部
経営企画グループ長　石川　和典
（TEL 03-6258-5612）

2027年３月期第２四半期（中間期）および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）および通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,470	百万円 80	百万円 65	百万円 30	円 銭 2.62
今回修正予想（B）	5,184	47	37	△22	△1.95
増減額（B-A）	△285	△32	△28	△53	－
増減率（％）	△5.2	△40.4	△43.1	－	－
（ご参考）前期第２四半期実績 （2026年３月期第２四半期）	5,110	157	163	94	8.19

（注）2026年３月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年３月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

２．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 11,500	百万円 700	百万円 659	百万円 365	円 銭 31.58
今回修正予想（B）	12,330	700	649	337	29.43
増減額（B-A）	830	0	△10	△28	－
増減率（％）	7.2	0.0	△1.6	△7.6	－
（ご参考）前期通期実績 （2026年３月期通期）	10,983	820	824	510	44.26

３．業績予想の修正理由

当第２四半期（中間期）における売上高は、システムソリューション事業における自動車メーカー及び Tier1 企業向けの高付加価値案件が堅調に推移したほか、産業機器向け案件が伸長し、半導体製造装置向け案件の減少も当初想定の範囲内で推移した一方、エンジニアリングソリューション事業において「FlexSim」の商流変更や PLM 関連案件の稼働率低下の影響があったことから、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、システムソリューション事業において増収及び収益性の改善により増益となった一方、エンジニアリングソリューション事業における減収の影響に加え、人件費の増加、SAP 導入に伴う減価償却費の増加及び確定拠出年金制度導入に伴う費用の発生等により販売費及び一般管理費が増加しました。また、2026 年８月に完全子会社化した株式会社クラステクノロジー（以下「クラステクノロジー」という。）の株式取得に伴う一時的な取得関連費用（アドバイザリー費用等）75 百万円を計上したことから、営業利益および経常利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、上記取得関連費用が税務上損金算入されないこと等により、法人税等の負担率が上昇した結果、前回予想を下回る見込みとなりました。

通期連結業績予想につきましては、売上高は下期からのクラステクノロジーの新規連結効果により前回予想を上方修正いたします。一方で、営業利益はクラステクノロジーの利益貢献があるものの、PLM 関連案件の回復の遅れや「FlexSim」の商流変更による影響が大きいことから、前回予想を据え置きます。下期はこれらの課題解決に注力し、収益性の改善を図ってまいります。

なお、今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上